

「DoboX × PLATEAU Hack Challenge 2025 in 広島」の 開催結果概要等について

1 要旨・目的

9月13日（土）、14日（日）に開催した「DoboX × PLATEAU Hack Challenge 2025 in 広島」の開催結果概要及び今後の取組について報告する。

2 現状・背景

データ利活用の重要性・有用性の発信や次世代を担うデジタル人材の育成等を目的として、インフラマネジメント基盤「DoboX」のデータ等を活用して、地域課題の解決に有効なアプリケーションやアイデアなどの優秀作品を選考するコンテストを令和5年度から開催している。現在、今年度のコンテストの作品募集を9月16日（火）から11月30日（日）の期間で行っている。

3 概要

コンテストの作品募集の開始に先立ち、プログラミングの経験のない方でも気軽にコンテストに作品の応募ができるようアプリケーションの開発等を支援するハッカソンイベント※を9月13日（土）、14日（日）に開催した。

イベントには、高校生・大学生をはじめ、建設コンサルタントやIT分野、運輸業等の様々な分野から37名が参加し、参加者と職員が協働して地域の課題解決に取り組み、6作品のアプリ等が提案された。

※ITエンジニアなどのメンター（指導者）を派遣し、アプリケーションの開発を支援するイベント

【作品一覧】

区 分	作品概要	利用データ
まちづくり	間違い探しなどを通じて、まちの魅力的な場所を紹介するアプリの提案	3D都市モデル
交通①	公共交通機関を利用する際の最短ルートの提案に加え、各年代に合ったルートを案内するアプリの提案	公共交通データ
交通②	バス利用促進のため、昼・夜のバスの利用目的を分析し、新たな需要創出に向けたアイデアを提案	都市計画基礎調査データなど
防災・減災	子供の避難意識を向上させるため、被害リスクをゲーム感覚で体験できるアプリの提案	3D都市モデルなど
中山間地域	中山間地域の魅力を発信するために、地理空間上でグルメスポットを巡るルートなどを案内するアプリの提案	道路規制情報など
空き家	空き家に関する情報（値段や間取りなど）に加え、周辺地域の魅力などの情報も合わせて発信するアプリの提案	空き家情報

4 今後の取組

今後は、県立広島大学などの県内大学や呉工業高等専門学校と連携したアイデアソン等の開催を予定している。

今回のハッカソンやコンテストなども含む様々な取組を通じて、広島デジフラ構想に位置づけた新たなサービス・付加価値の創出など目指す姿の実現に向けて取り組んでいく。



県職員から地域課題の説明



グループワークの様子



参加者による成果発表



イベント終了後の集合写真